

事務事業評価表(既存事業)

コード 1-3-2	事務事業名 市ホームページの運営	所管部課 企画部広報広聴課
--------------	---------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市のホームページを整備し、市民が情報を得やすい環境を整備する。	総合計画上の位置づけ (政策)協働で拓くまちづくり (施策)開かれた市政の推進(協2-1)/ 地域情報化の推進(協2-2) (主要施策)広報の充実/開かれた行政関連の情報化
	実施内容、実施方法 適宜、ホームページの掲載情報の更新を行い、市の政策や情報等を提供する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 12 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 ホームページのページ数	活動指標の考え方(定義) 市ホームページで公開しているページ数
	成果指標名 ホームページのアクセス件数	成果指標の考え方(定義) 市ホームページへのアクセス件数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		8,903	8,833	8,329	18,554	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		8,903	8,833	8,329	18,554	
	所要人員(B)	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,246	8,273	8,328	8,328	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	17,149	17,106	16,657	26,882	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(アクセス件数)	千円	0.06	0.05	0.04		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	ページ			5,200	5,500
		実績値	ページ	3,223	3,113	5,148	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	件			445,000	510,000	
	実績値	件	279,011	374,195	441,045		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	ホームページ上でアンケートを実施しており、その内容は概ね好評を得ている。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	東京都23区および市町村で、同様のホームページ運営事業を実施している。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 1-3-2	事務事業名 市ホームページの運営	所管部課 企画部広報広聴課
--------------	---------------------	------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	ホームページへのアクセス件数も増加し、着実にホームページ利用者の増加および内容の充実が進んでいる。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	市民の協力、理解を深めながら市政運営を実施するうえで、ホームページによる市政情報等の提供は、市報と同様に重要である。また、ホームページから情報を得ようとする市民が増大しており必要性は非常に高まっている。
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	平成15年度のHPメンテナンスツールの導入により、各課が直接お知らせ等の情報を入力できるようになった。その結果、情報量が増加するとともに、即時性の高い情報掲載が可能となり、効率性は非常に高まった。
	公平性 <input checked="" type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	文字の拡大縮小や画面色の変更が可能なアクセシビリティツールの導入により、弱視者などの視覚障害者にも利用しやすいホームページとなった。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	情報化が進む社会状況の中、ホームページはその重要性をさらに増していくと予想される。平成16年度は各課から情報発信することが定着した年であり、同時に、市民から、市がホームページに情報を出していくことを求められた年でもあった。今後は、各課からの情報発信がより積極的に行われるよう意識を高めるとともに、市民がより利用しやすくなるようホームページの構成等改善していく必要がある。

17年度における改善点	17年度は全面的にホームページのリニューアルを実施する予定である。リニューアル及び運営管理の委託業者はプロポーザルコンペにより選定し、内容の充実と総費用の削減を図る。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。